

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成25年11月14日
【四半期会計期間】	第21期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社日本一ソフトウェア
【英訳名】	Nippon Ichi Software, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長 北角 浩一
【本店の所在の場所】	岐阜県各務原市蘇原月丘町3丁目17番
【電話番号】	058 - 371 - 7275（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 世古 哲久
【最寄りの連絡場所】	岐阜県各務原市蘇原月丘町3丁目17番
【電話番号】	058 - 371 - 7275（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 世古 哲久
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第20期 第2四半期連結 累計期間	第21期 第2四半期連結 累計期間	第20期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	1,000,471	2,075,486	2,530,553
経常利益又は経常損失()(千円)	39,515	393,326	168,382
四半期純利益又は四半期(当期)純損失()(千円)	89,239	338,954	215,370
四半期包括利益又は包括利益(千円)	126,066	356,048	164,720
純資産額(千円)	1,058,784	1,373,018	1,020,885
総資産額(千円)	2,355,969	2,479,218	2,570,604
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期(当期)純損失金額()(円)	21.09	79.85	50.88
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額(円)		78.81	
自己資本比率(%)	44.9	55.4	39.7
営業活動によるキャッシュ・フロー(千円)	290,784	686,775	579,094
投資活動によるキャッシュ・フロー(千円)	83,567	59,375	79,499
財務活動によるキャッシュ・フロー(千円)	346,960	584,213	572,124
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	628,822	678,002	627,256

回次	第20期 第2四半期連結 会計期間	第21期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()(円)	13.92	73.42

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第20期第2四半期連結累計期間及び第20期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期(当期)純損失であるため記載しておりません。

4. 平成25年4月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行いました。第20期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純損失金額()を算定しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の連結子会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費及び生産・輸出に持ち直しの動きがみられたほか、企業の業況判断も改善されたなど、緩やかな回復が見られました。

当社グループが属するゲーム業界におきまして、当年9月に国内最大のゲームイベント「東京ゲームショウ2013」が開催され、過去最多の30か国以上の国や地域から約350の企業や団体が出展し、総入場者数が約27万人（昨年度 約22万人）と過去最高となり、今後の業界の動向に期待が高まっております。コンシューマーゲーム業界におきましては、当年9月に人気シリーズのゲームタイトルが発売され、活発な動きがありましたが、市場規模に関しましては、前年同期と比べてハードウェア・ソフトウェアの販売数は減少しており、業界全体では縮小傾向が見られました。モバイル業界におきましては、国内外の新規ゲーム開発企業や、大手コンシューマーゲーム開発企業がソーシャルゲーム市場に参入しており、競争が激しく、厳しい市場環境となっております。

このような状況の中で、当社グループのパッケージ事業におきまして、20周年記念タイトルを含む9タイトルを発売いたしました。また、20周年記念ライブイベントを行い、当社ブランド及び当社タイトルの更なる認知向上に努めてまいりました。オンライン事業におきましては、GREE、ヤマダゲーム及びMobageにてソーシャルゲームの配信を行うとともに、Android OS及びiOS対応のゲームアプリの配信を行いました。また、PlayStation Networkを通じてダウンロードコンテンツの配信を行ってまいりました。ライセンス事業におきましては、他社とコラボレーションしたソーシャルゲームの配信を行いました。その他事業におきましては、ゲームソフトの受託開発及びカードゲームショップ「プリニークラブ」の運営を行いました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,075,486千円（前年同期比107.5%増）、営業利益373,958千円（前年同四半期は46,217千円の営業損失）、経常利益393,326千円（前年同四半期は39,515千円の経常損失）、四半期純利益338,954千円（前年同四半期は89,239千円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

（パッケージ事業）

パッケージ事業におきましては、国内外あわせて全9タイトルの発売を行いました。

国内市場では『魔界戦記ディスガイア3 Return PlayStation Vita the Best』（PlayStation Vita専用ゲームソフト）、『Z/X 絶界の聖戦』（PlayStation3専用ゲームソフト）、『魔女と百騎兵』（PlayStation3専用ゲームソフト）、『アルカディアスの戦姫』（PlayStation3専用ゲームソフト）の4タイトルを発売いたしました。

海外市場では『Black Rock Shooter The Game』（邦題：『ブラックロックシューター THE GAME』、PlayStation Portable専用ゲームソフト）、『Time and Eternity』（邦題：『時と永遠～トキトワ～』、PlayStation3専用ゲームソフト）、『Etrian Odyssey IV』（邦題：『世界樹の迷宮IV 伝承の巨神』、ニンテンドー3DS専用ゲームソフト）、『SHIN MEGAMI TENSEI: DEVIL SUMMONER: SOUL HACKERS』（邦題：『デビルサマナー ソウルハッカーズ』、ニンテンドー3DS専用ゲームソフト）、『Disgaea D2:A Brighter Darkness』（邦題：『ディスガイア D2』、PlayStation3専用ゲームソフト）の5タイトルを発売いたしました。

グッズの製作・販売におきましては、ぬいぐるみやラバーストラップ等の新規グッズや20周年記念ライブイベントのグッズ制作・販売等を行いました。また、20周年記念ライブイベント「魔界ウォーズLive episode1 アサギの逆襲」を行い、お客様及び関係者の皆様への感謝の気持ちを表すとともに、顧客満足度の向上と新規顧客の獲得に努めました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高1,591,752千円、営業利益184,206千円となりました。

（オンライン事業）

オンライン事業におきましては、GREE、ヤマダゲーム及びMobageにて『ディスガイア魔界コレクション』の配信を行うとともに、Android OS対応ゲームアプリ『ディスガイア レギオンバトル』の配信を行いました。また、iOS対応

ゲームアプリ『マメクエ』の配信を当年8月より開始いたしました。さらに、PlayStation Networkを通じて『ディスガイアD2』の追加ダウンロードコンテンツやカスタムテーマ等の配信を行ってまいりました。その結果、当事業全体におきましては、売上高320,861千円、営業利益214,283千円となりました。

(ライセンス事業)

ライセンス事業におきましては、株式会社ドリコムとの共同事業として制作を行いましたGREE及びmixi向けソーシャルゲーム『ピックリマン』の配信をしてまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高63,276千円、営業利益57,147千円となりました。

(その他事業)

その他事業におきましては、株式会社プロッコリーから当年9月に発売されました『うたのプリンスさまっ MUSIC2』(PlayStation Portable専用ゲームソフト)と、当年10月に発売が予定されております『神々の悪戯(あそび)』(PlayStation Portable専用ゲームソフト)の受託開発を行いました。また、当社のグッズやトレーディングカードを扱う「プリニークラブ」の運営におきまして、当年7月に「プリニークラブ金山店」を新規開店いたしました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高99,596千円、営業利益40,161千円となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,479,218千円となり、前連結会計年度末に比べ91,386千円の減少となりました。

主な流動資産の増減は、受取手形及び売掛金の減少(前連結会計年度末に比べ、81,497千円の減少)、商品及び製品の増加(前連結会計年度末に比べ、64,749千円の増加)、仕掛品の減少(前連結会計年度末に比べ、114,194千円の減少)等によるものであります。

主な固定資産の増減は、投資有価証券の増加(前連結会計年度末に比べ54,953千円の増加)等によるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は1,106,200千円となり、前連結会計年度末に比べ443,518千円の減少となりました。

主な流動負債の増減は、短期借入金の減少(前連結会計年度末に比べ550,000千円の減少)、未払法人税等の増加(前連結会計年度末に比べ61,900千円の増加)、売上引当金の増加(前連結会計年度末に比べ51,942千円の増加)等によるものであります。

主な固定負債の増減は、長期借入金の減少(前連結会計年度末に比べ24,698千円の減少)等によるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,373,018千円となり、前連結会計年度末に比べ352,132千円の増加となりました。

主な純資産の増減は、四半期純利益338,954千円による増加等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は678,002千円となり、前連結会計年度末に比べ50,745千円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は686,775千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益393,609千円、売上債権の減少額87,071千円、たな卸資産の減少額51,373千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は59,375千円となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出207,289千円、投資有価証券の売却による収入158,636千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は584,213千円となりました。これは主に、短期借入金の純減額550,000千円、長期借入金の返済による支出27,342千円等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	13,600,000
計	13,600,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	4,303,200	4,303,200	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	4,303,200	4,303,200	-	-

(注)1. 「提出日現在発行数」欄には、平成25年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(注)2. 「提出日現在発行数」欄には、平成25年11月5日を払込期日とする公募増資による600,000株の発行済株式数の増加は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総数 残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	4,303,200	-	246,342	-	236,342

(注)平成25年11月5日を払込期日とする公募増資により、発行済株式数が600,000株、資本金及び資本準備金がそれぞれ232,584千円増加しております。

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
有限会社ローゼンクイーン商会	岐阜県各務原市新鵜沼台3丁目2番地	1,573,400	36.56
北角 浩一	岐阜県各務原市	1,000,000	23.24
加藤 修	愛知県名古屋市南区	230,400	5.35
岐阜信用金庫	岐阜県岐阜市神田町6丁目11番地	100,000	2.32
株式会社十六銀行	岐阜県岐阜市神田町8丁目26番地	90,000	2.09
五味 大輔	長野県松本市	70,000	1.63
HSBC-FUND SERVICES CLIENTS A/C (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	LEVEL 13,1 QUEEN'S ROADCENTRAL,HONG KONG (東京都中央区日本橋3丁目11-1)	65,000	1.51
野村證券株式会社	東京都千代田区大手町2丁目2-2	53,800	1.25
新川 宗平	岐阜県岐阜市	50,000	1.16
楽天証券株式会社	東京都品川区東品川4丁目12-3	47,600	1.11
計		3,280,200	76.23

(注) 上記のほか、自己株式が58,000株あります。

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 58,000		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,244,900	42,449	同上
単元未満株式	普通株式 300		
発行済株式総数	4,303,200		
総株主の議決権		42,449	

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社 日本一ソフトウェア	岐阜県各務原市蘇原月丘 町3丁目17番	58,000		58,000	1.35
計		58,000		58,000	1.35

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	627,256	678,002
受取手形及び売掛金	690,538	609,041
商品及び製品	48,265	113,014
仕掛品	215,971	101,777
繰延税金資産	4,142	4,305
その他	167,529	113,607
貸倒引当金	1,700	1,700
流動資産合計	1,752,003	1,618,047
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	343,004	338,280
機械装置及び運搬具(純額)	4,583	7,786
土地	212,687	212,687
その他(純額)	31,730	31,363
有形固定資産合計	592,006	590,117
無形固定資産	11,307	9,761
投資その他の資産		
投資有価証券	185,593	240,546
その他	29,693	20,744
投資その他の資産合計	215,286	261,291
固定資産合計	818,600	861,170
資産合計	2,570,604	2,479,218

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	204,739	226,169
短期借入金	900,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	46,872	44,228
未払金	98,650	68,042
未払法人税等	9,103	71,003
賞与引当金	27,987	44,261
売上値引引当金	49,550	101,492
その他	51,327	67,628
流動負債合計	1,388,230	972,827
固定負債		
長期借入金	143,438	118,740
退職給付引当金	14,227	13,309
その他	3,822	1,322
固定負債合計	161,488	133,372
負債合計	1,549,718	1,106,200
純資産の部		
株主資本		
資本金	246,180	246,342
資本剰余金	236,180	236,342
利益剰余金	586,001	920,714
自己株式	16,870	16,870
株主資本合計	1,051,490	1,386,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,302	3,573
為替換算調整勘定	34,907	17,083
その他の包括利益累計額合計	30,604	13,510
純資産合計	1,020,885	1,373,018
負債純資産合計	2,570,604	2,479,218

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
売上高	1,000,471	2,075,486
売上原価	540,467	1,177,077
売上総利益	460,003	898,409
販売費及び一般管理費	506,221	524,450
営業利益又は営業損失 ()	46,217	373,958
営業外収益		
受取利息	1,019	820
受取配当金	1,898	1,840
為替差益	-	16,695
投資事業組合運用益	11,694	-
その他	1,259	4,074
営業外収益合計	15,871	23,431
営業外費用		
支払利息	2,973	3,557
為替差損	6,158	-
投資事業組合運用損	-	467
その他	38	38
営業外費用合計	9,169	4,063
経常利益又は経常損失 ()	39,515	393,326
特別利益		
投資有価証券売却益	90	1,064
子会社株式売却益	3,378	-
特別利益合計	3,468	1,064
特別損失		
投資有価証券評価損	3,900	-
固定資産売却損	-	781
特別損失合計	3,900	781
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失 ()	39,947	393,609
法人税等	49,292	54,655
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 ()	89,239	338,954
四半期純利益又は四半期純損失 ()	89,239	338,954

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	89,239	338,954
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,477	728
為替換算調整勘定	26,348	17,823
その他の包括利益合計	36,826	17,094
四半期包括利益	126,066	356,048
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	126,066	356,048
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	39,947	393,609
減価償却費	22,810	20,845
貸倒引当金の増減額(は減少)	850	-
賞与引当金の増減額(は減少)	12,176	16,106
売上値引引当金の増減額(は減少)	6,333	50,116
退職給付引当金の増減額(は減少)	96	918
受取利息及び受取配当金	2,917	2,661
支払利息	2,973	3,557
投資事業組合運用損益(は益)	11,694	467
為替差損益(は益)	4,277	2,323
有形固定資産売却損益(は益)	-	781
投資有価証券評価損益(は益)	3,900	-
投資有価証券売却損益(は益)	90	1,064
子会社株式売却損益(は益)	3,378	-
売上債権の増減額(は増加)	5,823	87,071
たな卸資産の増減額(は増加)	305,172	51,373
仕入債務の増減額(は減少)	34,361	16,621
その他	42,671	6,504
小計	238,767	640,088
利息及び配当金の受取額	2,563	2,268
利息の支払額	3,152	3,354
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	51,428	47,772
営業活動によるキャッシュ・フロー	290,784	686,775
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	9,728	17,622
有形固定資産の売却による収入	-	500
無形固定資産の取得による支出	5,351	723
投資有価証券の取得による支出	100,118	207,289
投資有価証券の売却による収入	41,837	158,636
貸付けによる支出	40,000	-
貸付金の回収による収入	3,293	9,987
子会社株式の売却による収入	4,000	-
投資事業組合からの分配による収入	22,500	-
その他	-	2,864
投資活動によるキャッシュ・フロー	83,567	59,375

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	320,000	550,000
長期借入れによる収入	48,000	-
長期借入金の返済による支出	17,503	27,342
リース債務の返済による支出	2,399	2,955
株式の発行による収入	3,080	325
配当金の支払額	4,217	4,241
財務活動によるキャッシュ・フロー	346,960	584,213
現金及び現金同等物に係る換算差額	16,899	7,558
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	44,292	50,745
現金及び現金同等物の期首残高	673,114	627,256
現金及び現金同等物の四半期末残高	628,822	678,002

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、海外連結子会社に関して、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
給与手当	160,282千円	180,256千円
役員報酬	64,704	52,683
賞与引当金繰入額	12,013	16,012
退職給付費用	1,267	1,392
広告宣伝費	75,228	75,523

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金	628,822千円	678,002千円
現金及び現金同等物	628,822	678,002

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月21日 定時株主総会	普通株式	4,217	200	平成24年3月31日	平成24年6月22日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	4,241	200	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	パッケージ 事業	オンライン 事業	ライセンス 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	738,257	171,839	41,829	48,544	1,000,471	-	1,000,471
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	738,257	171,839	41,829	48,544	1,000,471	-	1,000,471
セグメント利益又はセグメント 損失()	79,382	117,598	34,503	587	73,305	(119,523)	46,217

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失()の調整額119,523千円は当社管理部門に係わる費用であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	パッケージ 事業	オンライン 事業	ライセンス 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,591,752	320,861	63,276	99,596	2,075,486	-	2,075,486
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	1,591,752	320,861	63,276	99,596	2,075,486	-	2,075,486
セグメント利益又はセグメント 損失()	184,206	214,283	57,147	40,161	495,799	(121,840)	373,958

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失()の調整額121,840千円は当社管理部門に係わる費用であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額()	21円09銭	79円85銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	89,239	338,954
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	89,239	338,954
普通株式の期中平均株式数(株)	4,230,400	4,244,566
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		78円81銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)		56,585
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

- (注) 1. 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。
2. 平成25年4月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純損失金額()を算定しております。

(重要な後発事象)

(公募増資及び第三者割当増資について)

当社は、平成25年10月18日開催の当社取締役会において、新株式発行及び当社株式の売出しに関し、下記のとおり決議いたしました。なお、公募による新株式発行については、平成25年11月5日に払込を受けております。

1. 公募による新株式発行(一般募集)

(1) 発行した株式の種類及び数	普通株式	600,000株
(2) 発行価格	1株につき	827円
(3) 発行価格の総額		496,200,000円
(3) 払込金額	1株につき	775.28円
(4) 払込金額の総額		465,168,000円
(5) 増加する資本金及び 資本準備金の額	増加する資本金の額 増加する資本準備金の額	232,584,000円 232,584,000円
(6) 払込期日		平成25年11月5日(火)
(7) 配当起算日		平成25年4月1日(月)

2. 当社株式の売出し(オーバーアロットメントによる売出し)

(1) 売出株式数	普通株式	120,000株
(2) 売出価格	1株につき	827円
(3) 売出価格の総額		99,240,000円
(4) 受渡期日		平成25年11月6日(水)

3. 第三者割当による新株式発行

(1) 売出株式数	普通株式	120,000株
(2) 払込金額	1株につき	775.28円
(3) 払込金額の総額	(上限)	93,033,600円
(4) 増加する資本金及 資本準備金の額	増加する資本金の額(上限) 増加する資本準備金の額(上限)	46,516,800円 46,516,800円
(5) 割当先及び割当株式数	大和証券株式会社	120,000株
(6) 申込期日		平成25年12月3日(火)
(7) 払込期日		平成25年12月4日(水)
(8) 配当起算日		平成25年4月1日(月)

4. 調達資金の使途

今回の一般募集及び本件第三者割当増資による手取概算額合計上限550,201,600円について、44,300,000円を平成26年3月期及び平成27年3月期中に運転資金として新規タイトルに係るゲームソフト開発のための人材増員に伴う人件費及び人材採用関連費に、350,000,000円を平成26年3月期中に短期借入金の返済資金に、155,901,600円を平成26年3月期中に長期借入金の返済資金に充当する予定であります。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月14日

株式会社日本一ソフトウェア

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山田 順 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 川口 真樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社日本一ソフトウェアの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社日本一ソフトウェア及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。